

家庭の食品ロス実態調査

■ 目的

家庭及び小売店における食品ロス削減に効果的な取組を見出すために、家庭の冷蔵庫に保管されている食品在庫の確認及び消費・賞味期限や食べられる状態なのかを確認（以下「棚卸し」という。）し、その結果捨てられる食品の種類や量、廃棄理由などを調査することによって、食品ロスを引き起こす消費者の行動要因を明らかにするとともに、捨てられる食品を金額換算することによって、食品ロスに対する府民の意識改革及び削減行動につなげることを目的として実施するものである。

また、家庭での手つかず食品ロスの半数以上を占める生鮮野菜・果物・大豆加工品[※]については、捨てるかどうかに関わらず、家庭内に保管されている食品の種類や量、購入状況、保存方法等を調査することによって、食品ロスを引き起こす具体的な原因の究明をする。

なお、本調査に用いたツール（調査票など）や調査結果は府内市町村に提供し、市町村における食品ロス削減啓発事業拡大に活用する。

※神戸市食品ロス実態調査結果より

■ 調査設計

- (1) 調査地域 大阪府
- (2) 調査対象 大阪府内に居住する世帯
- (3) サンプル数 375世帯以上（調査票配布時）
- (4) 有効回答数 300世帯以上（調査票回収後）
- (5) 調査方法 インターネット調査（ただし、一旦紙に記録出来る票は郵送（回収不要））
- (6) 調査内容
 - ア 基本アンケート
 - 基本属性、行動パターン、冷蔵庫に関することなどを調査
 - イ ストック調査
 - 家庭内に保管している生鮮野菜、果物、大豆加工品の種類や量、購入状況、保存方法などを調査
 - ①調査範囲：冷蔵庫（冷蔵室、冷凍室、野菜室）＋食品庫等
 - ②調査対象物：調査範囲に保管している生鮮野菜・果物・大豆加工品
（対象は45品目程度）
 - 対象外：自ら調理したもの、食べ残し
 - ウ 捨てるもの調査
 - 冷蔵庫に保管している食品を棚卸しし、その際に捨てられてしまう食品の種類や量、廃棄理由などを調査
 - ①調査範囲：冷蔵庫（冷蔵室、冷凍室、野菜室）
 - ②調査対象物：調査範囲に保管している食品
 - 対象外：自ら調理したもの、食べ残し
 - エ 事後アンケート
 - 棚卸し後に意識が変化したかどうか、調査に関する感想などを調査

■ 調査票のイメージ

基本アンケート	ストック調査票	捨てるもの調査票	事後アンケート
○基本属性 性別、年代、居住地域、世帯構成、就労状況について ○行動パターン 買い物、食材管理、調理頻度、食品の保存方法、賞味期限切れ食品について ○冷蔵庫について 収納容量や性能、使い方、収納方法、最近の棚卸しの有無・時期 等	○食品名 ○保管数量 ○保存場所 ○保存方法 ○購入・入手時の数量 ○購入・入手時期 ○購入・入手方法 ○購入目的 ○使用予定 等	○食品名 ○数量 ○保存場所 ○賞味・消費期限 ○入手方法 ○保管状況 ○購入状況 ○捨てた理由 ○捨てずにすむ方法 等	○食品ロス量についての感想 ○ストック量について通常時との比較 ○食品ロスを減らす食材管理方法（自由記述） ○食品ロスに対する意識の変化 ○調査に対する感想（自由記述） 等

■ スケジュール

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大阪府	入札	←→							
	調査票の作成		←→						
	調査期間			←→					
	集計・調査結果取りまとめ				←→				
	中間報告				★				
	最終報告（案）						★		
	成果物納品期限								★
市町村	調査期間			←→					
	簡易集計				←→				
	ワークショップ等						←→		